

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：土木費 項：住宅費 目：住宅総務費

事業名【新】空き家活用促進アイデア募集事業費 (R8分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 住宅課 空家対策推進係 電話番号：058-272-1111(内4834)

E-mail : c11659@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 9,363千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	9,363	4,500	0	0	0	0	0	0	4,863
決定額	9,000	4,500	0	0	0	0	0	0	4,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県は、空き家の解消に向け、空き家対策を実施する市町村に対する空家対策支援補助金による財政支援、市町村担当者向けの研修会を開催し人材育成支援をするなど取組を推進しているが、空き家数の増加に歯止めがかかっていない。

空き家活用促進について、民間事業者等に広くアイデアを募集し、行政と民間が協働し、空き家対策を推進する。

(2) 事業内容

空き家活用促進について、県が新たに補助制度を創設する。補助対象者は、市町村及び市町村と連携して空き家対策に取組む民間事業者等。民間事業者等に広くアイデアを募集し、3事業を補助事業に採択する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 10/10 (補助上限300万円)

補助件数 3団体

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	147	審査会報償費
旅費	104	打合せ旅費等
需用費	6	消耗品費等
使用料及び賃借料	106	会場借上げ料等
補助金	9,000	空き家活用促進アイデア募集事業費補助金
合計	9,363	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県住生活基本計画」（R3～R12）

- ・空き家の状況に応じた適切な管理、除却、利活用の推進

「第五期岐阜県地震防災行動計画」（R7～R11）

- ・空き家対策の推進

「清流の国ぎふ」創生総合戦略（R5～R9）

- ・空き家の活用などまちづくりと一体となった市町村の取組みを支援
- ・危険な空き家の除却に助成する市町村を支援

(2) 後年度の財政負担

単年度事業とする。その後は事業成果により継続するか否かを検討。

(3) 事業主体及びその妥当性

空家等対策特別措置法において、県の役割は「情報の提供及び技術的な助言、市町村相互間の連絡調整その他必要な援助を行うよう努めなければならない」とされていることから、市町村の枠を超えて実施する空き家活用促進アイデア募集事業は市町村相互間の連絡調整その他必要な援助であり、県が実施することが妥当。

県単独補助金事業評価調書

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

(事業内容)

取組	補助事業名	空き家活用促進アイデア募集事業費補助金
	補助事業者（団体）	市町村、市町村と連携して空き家対策に取り組む民間事業者等 (理由) 県、市町村、民間が協働し、空き家対策を推進するため。
	補助事業の概要	(目的) 空き家の活用促進 (内容) 空き家啓発やマッチングのアイデアの実現に係る経費に対して補助
	補助率・補助単価等	定率 (内容) 県 10/10、補助上限3,000千円/1団体 (理由) 財政的な理由により実現に至らないすぐれたアイデアを実現させるため
	補助効果	空き家の活用促進に資するすぐれたアイデアの実現
	終期の設定	終期 令和8年度 (理由) 令和8年度で補助事業は終了し、令和9年度以降は、事業成果を横展開していく。

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
空き家の活用促進に資するすぐれたアイデアを3件実現させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R7)				終期目標 (R8)	達成率
①アイデアの実現件数	0件				3件	

補助金交付実績 (単位:千円)			
--------------------	--	--	--

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）

2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）

1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）

0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

--